

## 第 12 回千葉上肢セミナー 2016/07/09

### 講演要約

#### 第 1 日目 「成績不良症例から学ぶ」

##### 講演-1 肩の成績不良例から学ぶ

肩のセッションでは、4 人の講師に症例を提示して頂いた。

- ・ 鎖骨骨折や上腕骨頸部骨折の症例より、解剖学の知識や手術特性・合併症の予測の重要性についてお話して頂いた。
- ・ 鎖骨骨折に対しスコーピオンプレート固定後肩鎖関節脱臼例より、烏口鎖骨靭帯の評価 や第三骨片の評価、骨折部位の評価の重要性をお話して頂いた。
- ・ 上腕骨骨幹部骨折の症例より、若年患者に対して髄内釘を施行する際の十分なリーミングの必要性をお話して頂いた。
- ・ 鏡視下腱板修復術後アクネ菌 (*Propionibacterium acnes*) を起因とする感染例の対応についてお話して頂いた。

##### 講演-2 肘の成績不良例から学ぶ

肘のセッションでは、小児、成人についての解剖学

- ・ 機能を考慮したレントゲンの見方 のご講義をして頂いた。上腕骨小頭や上腕骨の傾斜、橈骨頭の位置関係の重要性について や、Monteggia 骨折・Galeazzi 骨折などの代表的な骨折も、所見を見誤り保存療法を選択 すると難治してしまう可能性があるため、基本的な解剖の知識やレントゲンの見方が大切 であるという基本の重要性についてお話して頂いた。

##### 講演-3 手の成績不良例から学ぶ

手のセッションでは、橈骨遠位端骨折での不適切な固定による拘縮や脱臼等の合併症について、手指骨折・脱臼症例の転位や変形の注意点、装具療法の適正についてお話して頂いた。また腱鞘炎やばね指時のステロイド注射によるリスクや、術後感染・循環障害への配慮についてもお話して頂いた。

#### 第 2 日目 「症例から学ぶ」

##### 症例から学ぶ-1 「肩の成績不良例から学ぶ」 (症例検討)

肩のセッションでは、4人の講師に症例を提示して頂いた。

- ・ ゴルフスイングの獲得を目指した症例より、ゴルフスイングならではの特徴を考慮した治療展開についてお話して頂いた。
- ・ 反復性肩関節脱臼に対する鏡視下修復術後の腋窩神経麻痺の症例より、神経麻痺の予防方法・術後早期診断についてお話して頂いた。
- ・ 脱臼の自覚はないがスポーツ中に疼痛を訴える高校球児の症例より、MRIや整形外科的テストを用いた不安定性の評価・診断方法についてお話して頂いた。
- ・ 外傷による後方脱臼について画像所見を交えながら治療方針や見落とさないための注意点についてお話して頂いた。

症例から学ぶ-2 「肘の成績不良例から学ぶ」 (症例検討)

肘のセッションでは、3人の講師に症例を提示して頂いた。

- ・ フロアとの質疑応答形式で前腕・肘の見落とされやすい外傷疾患のX線読影方法をお話して頂いた。
- ・ 小児の化膿性肘関節炎の症例より、感染症のリスクや診断上の注意点等をお話して頂いた。
- ・ 上腕三頭筋腱皮下断裂による剥離骨折や離断性骨軟骨炎の症例より、野球肘のX線像の読影方法をお話して頂いた。

・

症例から学ぶ-3 「手の成績不良例から学ぶ」 (症例検討)

手のセッションでは、4人の講師に症例を提示して頂いた。

- ・ 重度な外傷によって手指機能が低下した手を「使える手」にするため、残存機能を使い復職可能にまで改善した症例についてお話して頂いた。
- ・ 屈筋腱断裂の症例より、一次縫合可能な時期についてフロアーと意見を交わし合った。
- ・ 手指骨折の症例より、蟹江の評価基準を使用し、後療法・感染・固定強度・回旋変形など起こりうるリスクについてお話して頂いた。
- ・ ばね指の症例より、ケナコルトの使用法、使用量の注意点や、実際の手術画像を紹介して頂いた。またOPE以外の治療法としてA1 pulleyストレッチや講師が考案したgradual locking releaseについてお話して頂いた。